



Yonago East Weekly

創立 / 1968年4月24日 事務所 / 米子市西福原1-1-55 ホテルサンルート米子 (0859)32 5531
 例会日 / 水曜日12:30 ~ 13:30 例会場 / ホテルサンルート米子市西福原1-1-55 (0859)33 0911
 会長 / 新納哲雄 幹事 / 小谷維夫 会報 / 永島清孝 提供 / 東京印刷

出席報告

会員数74名 出席数 51名 欠席数 17名
 出席免除会員 6名(荒川(雄)君、村上君、田中君、松本(正)君、新宮君、永島(武)君)
 出席率 76.39%
 前回補正出席率 4/2 76.39% 3/26 79.45%
欠席者
 足立君、深田君、池淵君、木美君、北沢君、小西君、小土井君、松本(啓)君、野津君、佐田山君、坂口君、高橋君、田村君、寺崎君、内田君、吉野君、吉岡君
ビジター
 長田昭夫君(米子)

メーキャップ

今週のお祝い

本人誕生祝: 3日伊藤慎哉君、18日永島武君、22日松浪昭二君、29日山中省吾君
スマイルBOX 18,000円 (累計906,500円)
 結婚記念祝: 杉本君、長棟君、本人誕生祝: 伊藤君、松浪君、山中君、日本初の韓国プロゴルフ鳥取大会が成功裡に終了致しました。ご声援ありがとうございました: 杉原君

会長挨拶

私は老後どのような生き方・考え方で過ごしたらよいだろうかと思うようになりました。15年以上前にインタークトの委員長を仰せつかり、米子松蔭高校の先生2人と生徒10名と一緒に老健施設を訪問し歯磨き指導をしたことがあります。老健施設は日本海に面した風光明媚な地にあり、素晴らしい天気で風はとても気持ちがよくススキが揺れていました。老後はこんなところに住みたいと思いました。しかし1時間程してあまりにも刺激がなく、生活の匂いがほしい、長期間は住めないと思いました。「老後は銀座で」という本を読みました。銀座は刺激もありとても便利です。高齢者の方は銀座やより便利な医療施設の充実したところに住みたいと思われるようです。マザーテレサさんが亡くなる少し前に、世話をしていた方がインドより進んだ外国の病院で治療を受けさせたいと願っていましたが、国民が一般に受ける医療を受けたいといって、特別な医療は望まず心静かに亡くなりました。美しい人生に有終の美を飾られたような気がします。「老後は銀座で」で私なり

に生き方を教えられたこともありました。年をとれば枯れるのが自然だ。しかし好奇心まで捨てるというのではない、欲望を追い求める生き方は慎むべきだろうと思います。感謝しながら明るく生きるようにしなければいけません。なかなか老後の生き方は難しいようです。

幹事報告

1. 大山春の一斉清掃のご案内
4月20日(日) 9:00~
2. 中海アダプトプログラムの合意書
3. 例会変更通知
鳥取北RC 5月13日(火) 夜間例会
ビジター受付あり



プログラム



「ドイツを語る」

ドイツを語る会 事務局長 渡辺眞子氏

ドイツを語る会は今年で12年で、約200名の団体です。私は中学校のときから一枚の絵とグリム童話に惹かれ、ドイツ文学を専攻してドイツ通になってしまいました。毎年ホームステイ先のドイツを訪ねて交流を深めています。ドイツは日本の面積の98%で、時差は8時間。約8千6百万人で9カ国に囲まれています。ドイツの語学学校の先生は最低5ヶ国語が喋れないと採用されず、教室は10人から15人ですが8カ国の生徒がいます。年金生活のお婆さんが、娘がドイツ男性と結婚したため孫と話をするためにドイツ語を習いに来ていました。コーヒーのペーパードリッパーはメリタ・ベンツさんというドイツ女性がコーヒー好きなご主人のために開発しました。当時は豆を金網や布で濾して衛生的でも美味しくなくて吸い取り紙で濾してみたら凄く美味しいコーヒーができました。それから茶色のワインボトルはライン川沿いで出来るラインワインと決まっており、ちょっと甘く、グリーン色のボトルがモーゼル川のモーゼルワインです。フルーティーであっさりしています。ボックスボイテルという形をしているメイン川沿いのフランケンワインはドイツ人が一番好きなワインです。ドイツの最優先課題のひとつに環境があります。小

さいときから学ぼうと、小学校で使うノートは無漂白の100%再生紙です。鉛筆も表側にコーティングがなく、色鉛筆は子供が舐めたり、有害物質が入らないよう塗料に厳しい規定があります。あと万年筆を使う授業ではインク壺からスポイトで吸い上げて使っています。また週に何回か絶対に消しゴムを使ってはいけない授業があり、カスが出ない、姿勢が良くなった、集中するという利点があるそうです。ドイツではペットボトルを高い値段で売って、絶対捨てない仕組みで、返却に行くと上乘せ分を現金で返してくれます。旅行者が知らないで捨てる子供たちが返しにいらしています。戦後は自動販売機の数が多かったですが、リサイクルが追いつかずゴミが氾濫するので全部撤去しました。ただ病院や体の不自由な方の施設では州知事に許可されて置くことが出来ます。それとドイツでは山は自動車です。途中でしか上がられません。排気ガスが木をだめにするので、電気カーか馬車を利用します。基本的に歩くので脱水症状を起こさないように、自動販売機がちらほら置いてあります。フライブルクという町では週に一回自動車乗り入れ禁止があります。乗り物は整っていて不自由はなく、ドイツが注目するモデル都市です。グリム童話は211話あり、文化遺産としてグリム兄弟が聞いた話を翻訳して集めたものです。怖い話が多いんですが、して良いことといけなことを言い伝えており、幼稚園の学習発表会はすべてグリム童話で、どの家庭に行っても必ず童話集が置いてあります。総合してドイツは日本と似ているところがあって、勤勉で時間を守る・古き善きものを大切に文化を伝承している国だと思います。住みよくて自然を何より愛していて家族で楽しむことの出来る国だと思います。

ロータリーへの想い

〈 原稿提出のお願い 〉

会報リーダー 永島清孝

7月から、毎週、週報に「ロータリーへの想い」を掲載しておりますが、現在、提出が全くありません。早期の提出は大歓迎ですので、順番関係なく、皆様からの提出をお待ちしております。どうぞ、ご協力宜しくお願い致します。

次回プログラム

4月16日 「介護について」
前畑祥子君
23日 「東京マラソンに参加して」
上森英史君

4月30日 休会
5月 7日 「ロータリーの友紹介」 雑誌委員